


<p>2021年9月15日発行</p> <p>Vol.91</p>		<p>長崎県音楽連盟事務局</p> <p>〒850-0056 長崎市恵美須町4-5 NBC第3ビル2F Tel&Fax 095-820-1081 ホームページアドレス http://www.n-rond.jp メールアドレス nma@onyx.dti.ne.jp</p>
-----------------------------------	--	--

プッチーニおじさんはくじけなかった！

オペラ作曲家としての名声も得て、満を持して臨んだオペラ『マダム・バタフライ』の初演。珍しくプッチーニは、息子も劇場に招待し並んで鑑賞。しかし開演して間もなく劇場は、ブーイングやヤジが飛び交い、おまけに歌手は泣き出してしまうというさんざんな結果だった。プッチーニの名声をねたむ人達の妨害があり、それに加え当時のイタリアの人びとにとって、日本は未知の国であり、物語に違和感があったのは事実かもしれない。しかし、プッチーニはくじけなかった。構成を見直し、作品に手を加え、数か月後には再演にこぎつけ、今度は大成功をおさめた。

コロナの影響で、マダム・バタフライフェスティバルが中止、そして延期になった。昨年3月、今年1月、そして今回の9月と3回連続での中止。公演を心待ちにしてくださっていた長崎市民の皆さん、そしてスケジュール調整の上、演奏会にむけ様々な準備をしていたただいた演奏者、関係者の皆さんに対し、本当に申しわけないと思っている。

～「国民文化祭」の内定について～

去る7月14日、中村知事が都倉文化庁長官から、本県で令和7年度に行われる第40回「国民文化祭」開催の内定書を受け取りました。「国民文化祭」は、文化芸術だけでなく、地域の特色を生かした地域文化を全国に発信する国内最大級の文化の祭典であるとともに、天皇皇后両陛下が地方を訪問される「四大行幸啓」の一つとなっており、本県では初めての開催となります。

また、令和7年は、被爆80年、長崎県美術館・長崎歴史文化博物館開館20周年、中華人民共和国駐長崎総領事館開設40周年、日韓国交正常化60周年など、本県にとって節目の年が重なることから、文化芸術の取組だけでなく、本県の強みである歴史文化や国際交流、平和、観光、おもてなしなどの魅力を全国に発信できる絶好の機会と考えております。昨年8月に長崎県文化団体協議会 河野副会長（長崎県音楽連盟 理事長）から「国民文化祭」誘致についての要望書をいただき、10月には文化庁へ要望書を提出しましたが、

事務局や実行委員会で協議や試演会を重ね、やっと創り上げた「プッチーニおじさんのマダム・バタフライ物語」。小さなお子さんでも十分楽しめるように、いろんな工夫をして準備を行い、コロナ禍の閉塞感を少しでも和らげるような音楽イベントにしようと、企画をしていた。

会場は、大ホールから国際会議場へと変更になるが、来年の2月19～20日に、何とか延期公演ができないかと、出演者の日程調整を行った上で、長崎市とも協議しながら準備を始めている。ステージや客席は狭くなるけれど、その分、より親密で臨場感あふれる舞台公演になると思う。

「プッチーニおじさんはくじけなかった！」終演後、いっしょに公演を創り上げる仲間の皆さんと、そんな言葉を掛け合えたらと願っている。

（運営委員長 堀内伊吹）



イラスト やまみちゆか

早期の誘致実現にほっと胸を撫で下ろすと同時に、私自身も関わり続けていきたいと気持ちを新たに、身が引き締まる思いでおります。

世界中に拡大している新型コロナウイルス感染症については、本県でも初めて「まん延防止等重点措置」が適用されるなど、未だ収束の兆しが見えず、文化芸術活動においても大変厳しい状況が続いています。このような中で、本県で「国民文化祭」を開催することは、県民の皆様の大きな励みとなるだけでなく、本県が持つ文化芸術の潜在力に改めて気づいていただく機会ともなるのではないかと考えております。「国民文化祭」を決して一過性のイベントに終わらせることなく、次世代にレガシーを残す画期的なチャンスと捉えていただき、本大会を成功へと導くことができるよう、長崎県音楽連盟の皆様方のご支援、ご協力をお願いいたします。

（長崎県文化観光国際部 文化振興課 参事 山浦 義次）